

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・生活や技術に対する関心をもち、意欲的な取り組みが見られる。
- ・基本的な生活能力を実践的に活かせるように身近な生活と結びつけることができた。
- ・製作や実習に際し、作業手順をイメージすることや基本的な技能が身についた。
- ・ノートの取り方を工夫し、学習のまとめを行える習慣が定着した。
- ・視聴覚教材、ICT 機器の活用により学習効果を高めることが出来た。

(2) 課題

- ・製作や実習を通して、自ら調べ、確認することで生活を創造する姿勢を育成する。
 - ・授業ごとに製作や実習の記録を残すことで、生徒の自主性や主体性をより高めるようにする。
 - ・製作の際は、作業工程別に進捗を可視化することで効率を上げ達成感を得られるようにする。
 - ・パソコンを活用して調べ学習等、効率的に行えるようにする。
- (・感染状況を鑑みながら、調理実習を段階的に再開させていく。)

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1)実施教科ではない。

(2) 分析(観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
衣服の着用、選択、手入れについて理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。	中学生の食生活と栄養について課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。製作に必要な基本的な技能を身に着け、安全に作業することができる。	小学校の学習を振り返り、3年間の見通しをもって学習に取り組もうとしている。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
食品の栄養的特質について理解し、食品群や食品群別摂取量の目安について理解している。	衣生活や住生活を豊かにするための製作品を考え、製作計画や方法について工夫している。	日常食の献立と食品の選び方について関心をもって学習活動に取り組み、食生活をよりよくしようとしている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
幼児の生活と家族、消費生活、環境とのかかわりについて理解し、基本的な知識を身に付けている。	自分や家族の消費生活を点検し、環境に配慮した消費生活について考えたり工夫している。	自分の成長や生活は、家族やそれに関わる人々に支えられてきたことに気付いている。

3 授業改善ポイント(観点別)

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
中学生に必要な栄養を満たす食事について理解するとともに、地域の食文化について理解して、日常食や地域の食材を生かした調理に関する基本的な知識を身に付ける。	衣服の材料や汚れ方に応じた方法で日常着の洗濯ができるようにする。製作の際は、手順書を読み解き、立体をイメージしながら作業できるようにする。	衣服の着用、選択、手入れについて関心をもって学習活動に取り組む。衣生活をよりよくしようとす。製作については、工夫して創造し、実践する力を身に付ける。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
安全で快適な室内環境の整え方と住まい方に関する具体的な方法について理解する。日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解するとともに適切に選択できるようにする。	1日分の献立について課題を見つけ、必要な栄養量を満たすために料理や食品の組み合わせができるようにする。製作に必要な技術を身に付け、作業効率も意識しながら、安全に布を用いた物の製作をできるようにする。	自分の食生活に関心をもち、健康によい食習慣について考え、日常生活で実践する。家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、工夫して創造し、実践する力を身に付ける。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
中学生に関わりの深い販売方法の特徴について理解し、購入に関する知識を身に付ける。自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解できるようにする。	幼児の遊びや幼児の発達と家族との関わりなどについて理解を深める。環境に配慮した消費生活について課題を見つけ、その解決を目指して自分なりに工夫し、創造する。	幼児の生活と家族について関心をもって学習活動に取り組み、よりよい生活の実現に向けて、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫して創造し、実践する力を身に付ける。